

精神看護学概論

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座		
対象学年	2	区分・時間数	講義 12 時間
期 間	前期		
単 位 数	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

精神的な健康の問題を抱えている人を、ただ精神障害者と規定せずに、その人に固有な生活の文脈から理解する。看護師は自らをケアの提供者として最大限に生かしながら、患者と家族にかかわることを学修する。患者と家族の生活史や家族背景、地域の文化や環境が与える要因を把握し、患者の言動の持つ意味を多面的に理解する。その理解のために人格の発達と病理、精神と身体、家族、集団および社会のダイナミクスについて学ぶ。

・教育成果（アウトカム）

様々な発達段階にある対象の精神の健康および起こりやすい健康問題を理解することで、精神の健康を保持増進するための支援ができる基礎的態度を修得する。人間を、心理社会的および生理的な側面から総合的に理解するために、社会の動向と精神看護の関係やわが国の精神保健福祉制度の機能を理解し、とりわけ長期入院の弊害と閉鎖処遇の課題の解決の方向を考察することができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1, 2, 3, 4

・到達目標（SBO）

1. 心の健康の概念について説明できる。
2. 精神の健康の定義の歴史的変遷とその考え方を概説することができる。
3. ライフサイクル各期における発達課題と心の危機的状況について説明できる。
4. 精神の障害と疾患論の形成の過程についての考え方を説明することができる。
5. 精神障害を体験する人々の苦しみとそれに耐える生活の現状を理解することができる。
6. 精神障害を社会がどのようにとらえてきたのかの歴史的な背景とその意味を踏まえた問題点を指摘することができる。
7. 現代社会のストレスとその要因と対処の現状を踏まえて、自己の感情活動の具体的な対処方法を検討することができる。

・ 授業日程

(矢) 西 1-B 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
5/10	火	1	地域包括ケア講座	遠藤 太 教授	精神の健康「心のケア」と現代社会 ・ 日本における心の健康問題とメンタルヘルスを理解し、精神医療とその課題を捉えることができる
5/17	火	1	地域包括ケア講座	遠藤 太 教授	精神の障害の体験 ・ 病的体験による苦痛と苦悩を知り、そこからいかにしてリカバリーしていくかについて理解することができる
5/24	火	1	地域包括ケア講座	遠藤 太 教授	人間の心のはたらき ・ 精神障害というとらえ方を ICF の分類からとらえることができる ・ 意識、認知、思考、感情について説明することができる
5/31	火	1	地域包括ケア講座	遠藤 太 教授	心のしくみと人格の発達 ・ どのようにして自己が形成されていくのか、認知機能、学習と行動、感情及び発達の各理論を通して理解することができる
6/7	火	1	地域包括ケア講座	熊地 美枝 准教授	心の危機とストレス ・ 心身の健康に影響を及ぼすストレスについて、ストレス理論から理解することができる ・ 心的外傷と危機回避の方法と新たな回復のモデルを理解することができる
6/14	火	1	地域包括ケア講座	遠藤 太 教授	家族システムとそのダイナミクス ・ 円環的な人間関係としての家族を理解し、家族関係の正と負の機能を知ることができる ・ 集団の役割とそのダイナミクスを理解することができる

6/21	火	1	地域包括ケア講座	高崎 邦子 講師	<p>社会のなかの精神科病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本における精神医学・医療の歴史的流れを知り、そのうえで現在の入院形態について説明することができる ・精神科への受診、入院治療の意味を患者や家族の体験から知り、看護の役割を理解することができる
6/28	火	1	地域包括ケア講座	熊地 美枝 准教授	<p>看護師のストレスと感情労働</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分らしさをつくるための感情規範や行動の規則的な構造を知り、活用できる

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学 [1] 精神看護の基礎 第6版	武井麻子、他著	医学書院	2021
教	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学 [2] 精神看護の展開 第6版	武井麻子、他著	医学書院	2021

・成績評価方法

定期試験（多肢選択）70%と Portfolio 評価（完成度と利用度の評価）30%の合計 100%にて評価をする。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

事前学修は、所定の事前学修シートの各授業回の提示された keyword を調べてまとめておくこと。各回最低 30 分を要する。

また、事後学修は、所定の事後学修シートに、各授業回の学修の要点をまとめる。各回最低 30 分を要する。

事前・事後学修シートを Portfolio にまとめる。

授業中に映写するパワーポイント資料は WebClass に掲載するので必ず確認し、理解不足だと思う点を教員に質問し、その都度放置せずに事後学修すること。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

・各授業の最後に行う習得度チェックについては、授業内に解答・解説を行う。

・リアクションペーパーは、次回の授業においてコメントを付すなどしてフィードバックする。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師（別表 3）：専門分野Ⅱ 精神看護学

【その他】

各回講義の中で、教員とのディスカッションの機会を設け、またはIRの利用によるアンケートフォーム（Custom form®）を通して、学生の理解度を確認しながら講義を進行する。

・ 授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影